



18	マグニス	…：へプレイヤー名、お前はまた人類の希望のために、戦えるか？
17	マグニス	我々、王立騎士団は速やかにこれを迎撃する必要がある。
	ト書き	SE：ドーンと遠方から轟音
16	マグニス	魔導傀儡、魔導兵、天式、霸王セスに与した亜人…：奴らの一斉攻撃をなんとか防いでいる状態だ。
15	イリス	今、このレムナントの皆は霸王セスの魔導兵の軍勢に総攻撃を受けています。
14	イリス	へプレイヤー名、さん…：落ち着いて、よく聞いてください。
	ト書き	マグニス、イリス、立ち絵表示。
13	マグニス	偶然か、必然なのか…：このタイミングでお前が目覚めたのは
12	マグニス	へプレイヤー名、！！、ネリリリから聞いたぞ…！！無事に生き返ったんだな！
	ト書き	SE：ドーンと遠方から轟音 SE：（マグニスが）駆けつける足音 マグニス、立ち絵表示。
11	サヴァ	聞きたいところですけどー！ 本当なら、すぐにも過去の記憶について
10	サヴァ	それはイリスも一緒！ あたしたち…：ご主人様が目覚めるのをずっと待ってました！

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
1	ナレ（サヴァ）	シムナントを急襲してきた霸王セスの軍勢に 応戦を続ける騎士団の仲間たち。	
2	ナレ（サヴァ）	目覚めたご主人様は、迷うことなく その布陣に加わった。	
	ト書き	サウロ、チビ龍、エディオン、立ち絵表示。	
3	エディオン	へプレイヤー名 先輩！！ 良かった…無事に生き返ったんですね！！？	
4	チビ龍キュルウ	キュキュウ！ キュルルウ！	
5	サウロ	再会を素直に喜ぶたいところですが… 生憎、そうもいきません。	
	ト書き	サウロ、立ち絵表示。	
6	サウロ	へプレイヤー名 ……この戦場に 駆けつけたということは	
7	サウロ	あなたも王立騎士団の一員として 戦う意思を持っていると受け取っても？	
8	サウロ	……ふっ、今のは無粋な質問でしたね。	
	ト書き	チビ龍、エディオン、立ち絵表示。	
9	エディオン	へプレイヤー名 先輩が 竜仙人香を飲んでから、この一週間…	
10	エディオン	霸王セスの襲撃が激化して 騎士団も応戦する状態が続いています。	



24	23	22	
サウロ	サウロ	サウロ	
私たちがあなたの仲間です。 それを…決して 忘れないでくださいね。	何者であろうとー！ ですが、あなたが	あなたがどのような過去を 目の当たりにしたのか 私たちはわかりません。	あなたが竜仙香の中で 何を見たのか…





	ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
11			サクヤ	オーベリアっていうのは、この星の創造主で	
10			サクヤ	『聖杯を神々の臥榻（がとつ）に捧げよ。我らオーベリアの声を聴け』……だっけ。	
9			サクヤ	……ユリイデルが託した言葉。 『温情の聖杯は、唯一の希望』……	
			ト書き	イリス、サクヤ、立ち絵表示。	
8			イリス	もしかしたら、ユリイデルの願いが私たちを導いてくれたのかもしれないね。	
7			イリス	私たちがヘブレイヤー名 〳さんとサヴァにこうして出会えたのもー	
6			イリス	120年前、ユリイデルはヘブレイヤー名 〳さんを守るために、命を懸けたんですね……	
5			イリス	……	
			ト書き	イリス、立ち絵表示。	
4			ナレ（サヴァ）	そして、ユリイデルが最期に託した想いと言葉のことを……	
3			ナレ（サヴァ）	120年前、ユリイデルと出会い……自身の体にルシファアの魂を宿したこと。	
2			ナレ（サヴァ）	落ち着きを取り戻した皆内で、ご主人様は竜仙香の眠りの中で触れた記憶を打ち明ける。	
1			ナレ（サヴァ）	騎士団の奮戦の甲斐あって、ご主人様たちは霸王セスの軍勢を退けることに成功した。	
			イリス サウロ サクヤ マグニス		



26	25	24	23	22		
エディオン	エディオン	チビ龍キュルウ	エディオン	エディオン	ト書き	エディオン チビ龍キュルウ
俺の悪い癖だから。 考えすぎてしまうのは	…いや、何でもない。 何でもないよ、キュルウ。	キュキュウ？	仲間の中に裏切る者が いるってことー	騎士団の情報か 霸王セスに筒抜け だとしたら…	魔導傀儡とバトル	







ADV	ID キャラ	セリフ	備考
1	ナレ（サヴァ） サヴァ イリス マグニス ラース	エルフ王メイセリスと入れ替わるように現れた人影……それは意外な人物だった。	
2	マグニス	このタイミングでレムナントに現れるなんて どういうつもりだ？	
3	マグニス	王立騎士団、かつての第1騎士隊長…… ラース・シックザール。	
4	ラース	……ふん、またこの咎に 足を踏み入れることになるとはな。	
5	ラース	先刻の話、先代の真王は『神々の臥榻』と…… 確かにそう言ったのだな？	
6	イリス	は、はい……へプレイヤー名 さんの話だと 『温情の聖杯は、唯一の希望』……	
7	イリス	『聖杯を神々の臥榻に捧げよ。 我らオーベリアの声を聴け』とユリイデルが。	
8	サヴァ	もしかして、ラースも何か 心当たりがあるのかしら？	
9	ラース	『聖杯を神々の臥榻に捧げよ』……	

					POP																
21	20	19	18				17	16	15	14	13	12	11	10							
マグニス	マグニス	ラーズ	ラーズ ト書き	ラーズ マグニス			ラーズ	マグニス	マグニス	マグニス	ラーズ	マグニス	マグニス	ラーズ	ト書き						
生憎、何も知らないまま	お前が決めることじゃない！ 手に負えないかどうかは	さっさと聖杯を寄こして あとは霸王セスに 備えている。	この件は 貴様らの手には負えない。	ラーズとバトル（前半）			………チツ、減らず口を。	対等な目線に立ち、自分で考えて判断を下す…… 俺は、お前にそう教わったからな。	聖杯が欲しいなら理由を話せ。 俺たちが納得できる理由を。	………それで『はい、わかりました』となるほど 騎士団はお前に従順じゃない。	説明している時間はない。 ごねるようなら、カつくで奪うまでだ。	ラーズ、お前は何をしようとしている？ 何故ルシファアの魂が抜けた聖杯が必要なんだ？	温情の聖杯を……？	王立騎士団が所持している温情の聖杯…… この俺が預らせてもらう。	ラーズ、マグニス、立ち絵表示。						そういうことか。

										POP		
29	28	27	26	25	24	23					22	
ラース	ロヒトル	ロヒトル	ロヒトル	マグニス	ラース	ロヒトル	ト書き ラース マグニス ロヒトル				ラース	
……ふん、相変わらず呑気なものだな。	……そうは思わないか、ラース？ ……ウトベリルの生き残りよ。	……ここで無駄に剣を交えるより言葉で説明した方が遥かに効率が良い。	……現団長は俺以上に頑固だが他者の言葉へ耳を傾ける心の広さも持っている。	……ウトベリル……？ 確か、今はもう存在しない国じゃ…	……	……ラース……お前は聖杯を持ってウトベリルに向かう気だな。	……ラースとバトル（後半）				……	……誰かを送り出すのはうんざりなんでな！

ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
	10	イリス	では『神々の臥榻』とは……ウトベリルの	
		ト書き	ラーズ、イリス、立ち絵表示。	
	9	ラーズ	故に、イラッドリス島は『神々の臥榻』と 呼ばれるようになった。	
	8	ラーズ	戦いで傷ついた神々が身を横たえた地…… それがウトベリルのイラッドリス島だ。	
	7	ラーズ	……太古の昔、調和を望む神々と 混沌を招く神ダルムダルの間で戦いが起こった。	
		ト書き	ラーズ、立ち絵表示。	
	6	ラーズ	……『最も神々に近い土地』 そう呼ばれていた。	
	5	ロヒトル	……そうだな、ラーズ？	
	4	ロヒトル	ウトベリルは神々への信仰が深く 供物と恩恵の調和がとれている国だった……	
		ト書き	ラーズ、ロヒトル、立ち絵表示。	
	3	ロヒトル	ああ。ラーズの故郷であるウトベリルは 他国に滅ぼされ存在しない国になってしまったと。	
	2	マグニス	親父から……？	
	1	ロヒトル	これは俺の先代の团长……義理の父でもある クラウス卿から聞いた話だ。	
		ト書き	ロヒトル、マグニス、立ち絵表示。	
		イリス マグニス ラーズ ロヒトル		

	POP		
マグニス	22	ラース	貴様らにわざわざ教える羽目になるとはな。俺も甘くなったものだ……
	21	イリス	だからラースさんは温情の聖杯を奪おうとしたんですね……自分が聖域に向かうために。
	ト書き		マグニス、ラース、イリス、立ち絵表示。
	20	ラース	受け入れるのはウトベリルの血を引く者だけだ。
	19	ラース	……聖域であるイラッドリス島には古からよそ者を排斥する結界が敷かれている。
	18	ラース	ふん……知った口を叩くな。
	17	マグニス	自身にダルムダルを降ろして俺たちに自分ごと倒させた時みたいに。
	16	マグニス	……お前のことだ。また独りで厄介事を背負うつもりなんだろう？
	15	マグニス	『聖杯を神々の臥榻（がとう）に捧げよ。我らオーベリアの声を聴け』……か。
	ト書き		マグニス、ラース、立ち絵表示。
	14	イリス	ラースさんやスルースさん……お二人の故郷に、そんな謂れがあつたなんて……
	13	ラース	ウトベリルの血を引く者の魔力耐性が強いのもそんな長年の信仰の恩恵だと言われている。
	12	ラース	作物や家畜は供物として島の祭壇に捧げる習慣が根付いていた。
	11	ラース	ウトベリルの民にとって、あの島は聖域。
			イラッドリス島を指す言葉だったんですね。

					POP					
31	30	28	27				26	25	24	23
イリス	イリス	エティオン	チビ龍キュルウ ト書き	チビ龍キュルウ エティオン イリス			マグニス	マグニス	マグニス	ラース ト書き
私と同じです。 ラースさんをひとりで 行かせるわけには…	彼に言いたいことが あるんだと思います。	キュルウ！？ どうしたんだ？ ラースさんに向かって…	魔導傀儡とバトル キュキユウ！ キュルウ！				誰かひとりに 重荷を背負わせるのは 好きじゃない。	騎士団長として 承服しかねるな。それにー	そして俺たちは お前が危険な橋を渡るのを 見守ってるー	事情がわかったなら さっさと聖杯を寄せ。

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
	イリス マクニス ラーズ ロヒトル チビ龍キュルウ		
1	ナレ（サヴァ）	ユリイデールが遺した言葉、『聖杯を神々の臥榻に捧げよ』を確かめるために	
2	ナレ（サヴァ）	温情の聖杯を奪い、単独でウトベリルのイラッドリス島に向かおうとするラーズ。	
3	ナレ（サヴァ）	聖杯を所持する騎士団は、そんな彼を案じて温情の聖杯を渡そうとしない。	
4	ナレ（サヴァ）	ラーズと騎士団の間で膠着状態が続く中――	
	ト書き	イリス、チビ龍、立ち絵表示。	
5	イリス	ラーズさん、私たちと取引をしませんか。	
6	チビ龍キュルウ	キュウ！ キュキュウ！	
7	イリス	私たちは神々の臥榻へ行きたい…… ラーズさんは聖杯を手にしたい……	
8	イリス	私たちが神々の臥榻、イラッドリス島に連れていってくれたら温情の聖杯を引き渡す――	
9	イリス	それなら、あなたの本来の目的も果たせますよね……？	
	ト書き	ラーズ、立ち絵表示。	
10	ラーズ	貴様らをイラッドリス島に……だと？	
11	ラーズ	言ったはずだ。聖域に踏み込めるのはウトベリルの血を引く者だけだと。	
	ト書き	ラーズ、イリス、立ち絵表示。	





ADV	ID キャラ	セリフ	備考
	サヴァ チビ龍キュルウ		
1	ナレ（サヴァ）	イリスが持ちかけた取引にラースが応じて	
2	ナレ（サヴァ）	聖杯を携え神々の臥榻と呼ばれるイラードリス島に向かうことになったご主人様たち。	
3	ナレ（サヴァ）	そして、その一方でー	
	ト書き	サヴァ、立ち絵表示。	
4	サヴァ	120年前のご主人様の記憶… ユリイデルとの思い出…	
5	サヴァ	あたしが、ご主人様に倒されても 死ななかったのには、ちゃんと理由があった。	
6	サヴァ	どうして消えてないのか…：ようやく分かった。 120年前、あたし自身が願ったんだ。	
7	サヴァ	ご主人様とずっと一緒にいたいって。 それをユリイデルが最期に叶えてくれた。	
8	サヴァ	あの時から、あたしは… 世界で一番幸福な呪いをかけられたんだわ。	
9	サヴァ	ご主人様とあたしが、本来の源である くるみの魂が消えても存在し続けられるのはー	
10	サヴァ	神々の力を得たユリイデルが、真王として… そして人間として願った想いだっただ。	
11	サヴァ	…：そんな大事なこと、どうして 忘れちゃってたんだろう。	
	ト書き	チビ龍、サヴァ、立ち絵表示。	





	ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
10			スヴァルト	…立ち止まっても地獄、進んでも地獄か。	
			ト書き	スヴァルト、立ち絵表示。	
9			霸王セス	あーっはっはっはっはっはっは！！ ククククク…	
8			霸王セス	私はこの玉座から、とくと眺めるとしよう。 愚かな反逆者が潰れゆく様を。	
7			霸王セス	貴殿らがどの道を選ぼうとも 果てに待ち受けるは絶望のみ…	
6			霸王セス	引き返すも地獄、進み続けるも地獄… ククッ、実に愉快な道筋ではないか。	
5			霸王セス	いずれにしても、手は打つてある。 王立騎士団の動向は掌握済みだ。	
4			霸王セス	眠っているとは… あのような辺境の地に、神々の加護が	
3			霸王セス	今はなき過去の国、ウトベリル… イラッドリス島とはな。	
			ト書き	霸王セス、立ち絵表示。	
2			ナレ（スヴァルト）	その情報が、霸王セスに筒抜けとなっていることも 知らぬままー	
1			ナレ（スヴァルト）	王立騎士団は、温情の聖杯を携え 神々の臥榻と呼ばれるイラッドリス島に向かう。	
			霸王セス スヴァルト		

13	12	11
スヴァルト	スヴァルト	スヴァルト
見守らせてもらおうよ。 サヴァ、オしもこの場所から	そんな相手に、人間がどうやって対抗するのか……	『ダルムダルと契約した霸王セスは、言わば ダルムダルの執行代理人』……

			ADV
10	エディオン	す、すみませんッ！！	ID キャラ セリフ
9	ラース ト書き	…：耳障りだ。 いちいち大声を出すな。	
8	エディオン	このエディオン・クラブ！ 力の限り、任務完遂のために尽くします！！	
7	エディオン	なんて責任重大…：マグニス団長の分まで 頑張らないと！！	
6	エディオン ト書き	マグニス団長は王立騎士団の要です。 ミストの地を離れるわけにはいきませんよね。	
5	サクヤ	マグニスも来たがってみたいだけ さすがにウトベリルまでは距離がありすぎるわ。	
4	サクヤ ト書き	まさか、あのラースと一緒に目的地を目指す ことになるなんてね。 サクヤ、立ち絵表示。	
3	ナレ（サヴァ）	それぞれの目的と それぞれの願いのためにー	
2	ナレ（サヴァ）	温情の聖杯を預かるイリスたち…：そして ウトベリルを故郷に持つラースは旅路を急ぐ。	
1	ナレ（サヴァ）	ユリイテールが遺した言葉、『聖杯を 神々の臥榻に捧げよ』を確かめるために	
	イリス サクヤ ラース エディオン		備考



		POP			ADV
					DI
ト書き				イリス サクヤ ラース エディオン チビ龍キュルウ	キャラ
野良モンスター、魔導傀儡とバトル			セスの監視の目を逃れてウトベリル領に入るには、ヘルム渓谷の最も闇深き場所、ピフロスト（北欧神話「ぐらつく道」を意味する）を通過するしかない。		セリフ
					備考

	POP		ADV	
ト書き			ラース サクヤ イリス サヴァ	DI キャラ
溪谷にいそうな岩系の野良モンスター、魔導傀儡とバトル		「闇深き路ビフロスト」内の危険性について、ラースあたりが言及 ラース「貴様らがどうなろうと構わないが、聖杯は残しておけ」 イリス「惑わされたりなんてしません」		セリフ
				備考



	ADV
<p>下書き</p>	D I キ ャ ラ
<p>魔界イブリルエリアに登場したモンスターとバトル</p> <p>主人公・サヴァの前にはクリイデールの幻影……          ラーズ「過去の記憶が、自分を惑わすこともある」          (覚えてはいるからこそ、判断を鈍らせたり障害となることもある)</p>	セ リ フ
	備 考







	POP		ADV	
ト書き			ラーズ ティリオン ネルリリ エティオン 霸王セス（分身）	D I キャラ
霸王セス（分身）、魔界イブリルエリアに登場したモンスターとバトル		●（冒頭に戦闘） 霸王セスの分身を撃退。 ティリオンとネルリリ、フェルフィヨトルの魔導兵の動向を見るため、ここで別行動。 ●ウトベリルに近付くにつれてチビ龍の様子に変化が…（幻獣の力に反応）		セリフ
				備考

	ADV		D I
	ラース エディオ ン チビ龍キ ュルウ	<p>ラース、ひとり「クリムラインのペンダント」を眺めているところにチビ龍がくる。</p> <p>「過去の記憶は枷になる、同時に生きる理由も与える・俺の場合は、生かされている理由……だかな」</p> <p>ラース「……」</p> <p>「お前はネロに似ている……この世界に属さない異質の匂いがする」</p> <p>「幻獣と神を繋ぐ鍵よ……神に与するか、ヒトに与するか、少なくとも馴れ合いはロクなことにならないぞ」</p> <p>エディオ、遅れて駆けつけてあわわ！</p> <p>ラース、エディオの中に霸王セスの影を感じるも、言及せず。</p>	セリフ
	備考		

	ADV	D I キャラ
	イリス サクヤ ラーズ エディオン	セリフ
<p>●セスの魔導兵強襲以降、主人公側の行動がセスに漏れており「仲間の中に裏切り者が……？」と疑いが生じる。</p> <p>「霸王セスに、こちらの行動が読まれ過ぎていることから「仲間の中に裏切り者が……？」と疑いが生じる。」</p> <p>サクヤ、一度洗脳されかけたラーズを疑う。</p> <p>ラーズ、肯定も否定もしない。</p> <p>イリス、今は先に進むことが先決と説得。</p>		備考
	<p>新背景↓ウトベリル領ストラ：ラウク の社外に広がる海 の社の後ろには海 が広がっている （廃墟イメーシ： フランス・オウル ドゥールシユル    グラヌ）</p>	







	ADV
<p>ト書き</p>	D I キ ャ ラ
<p>野良モンスター（古代生物）とバトル</p> <p>POP</p> <p>主人公たち、ストラの ラウクの社（目的地「神々の臥榻（がとう）」と呼ばれる イラハドリス島の入り口）に到着。</p> <p>サヴァ イリス サクヤ ラース</p>	セ リ フ
	備 考

新背景↓ラウクの  
社（夜）：（廃  
墟イメージ：北  
サンタ・カタリ  
ナ教会）



	ADV	
D I キャラ		イリス サクヤ ラース エディオン チビ龍キュルウ
セリフ		<p>イラリドリス島への道は、霧のような壁で閉ざされている。主人たちが温情の聖杯を捧げると、神々の声が聞こえて辺りが白に包まれる。</p> <p>野良モンスター（古代生物）とバトル</p> <p>ト書き</p> <p>神々「混沌の元凶ダルムダルを葬るには、残り3体の光の従者を目覚めさせる必要がある」                  （オーベリア一族、本当はダルムダルに匹敵する族長サリアの力を取り戻したい。                  そのためにサリアの力を継承できる真王粹のイリスを利用。                  目的達成後はイリスを使って、異端分子を徹底排除する予定）                  ※ダルムダルVSオーベリア一族の長サリアの戦いで                  サリアの力は7つに分断、四肢（両手両足）はアウルニル山に、頭と胴体と心臓はイラリドリス島に落下。                  これが「光の従者」と呼ばれるもの。                  「光の従者が世界を守護し見守っている」といって言い伝えは、人間が都合よく創り出した偶像崇拜の延長。                  実際の従者は、神の7つの分体……ルシファー遺物と通じる点。</p>
備考		

★イラッドリス島の幻獣・三姉妹  
三女・銀のアイギス（幻獣・天馬）、  
次女・金のトリアイナ（幻獣・麒麟）、  
長女・無のケラウノス（幻獣・大蛇）に由来する三聖獣。  
〔幻獣の表歴史〕  
かつての星の創生記から世界を守護する光の従者たち。  
神々とダルムダルの戦いで勇敢に戦うも、ダルムダルの使役する強大ナルシファーに敗北。  
神々は三聖獣の働きを称え、その身を横たえた島で永き眠りを与える。  
目覚めの時まで力が悪用されないように印を刻み島に封印する。  
幻獣たちの印を解いた者と契約が結ばれその者の従者となるが、  
幻獣の伝承から悪用する者を遠ざけるため三戟の試練がある。  
※〔三戟の試練〕は〔四門の試練〕よりもハードで、印を解くには  
幻獣を撃破し、それぞれに代償を差し出さなければならない。  
〔幻獣の裏歴史〕  
かつて不滅なる一族（オーベリア一族）が、敵対勢力を排除するために作りだした光の従者。  
ダルムダルの反乱が起きた際に対抗するもダルムダルの強大な力の前に屈して  
従者は7つの力に分散して地上へ落ちていった。  
四肢（両手両足）はアウルニル山に、頭と胴体と心臓はイラッドリス島に落下  
（神の7つの分体…ルシファー遺物と通じる点）  
（実際に封印を施したのは、ダルムダルや霸王・人間による力の悪用を恐れた従者自身）  
ルシファーはオーベリア一族が使役・生み出した力だが、ダルムダルによって7つの遺物に封印される。  
後世には「ダルムダルがルシファーを生み出した」と伝えられているが、本当は真逆。

ADV	D I キャラ	セリフ	備考
	イリス チビ龍キユルウ 聖王母サリア オーベリア(セリフのみ)	<p>主人公たち、不思議な空間（神界）に飛ばされる。          神々「異形の者と聖女の魂を抱く者よ、よくぞたどり着いた」          神々「温情の聖杯は、このウトベリルに伝わりし杯……」          我ら一族が授けし秘宝であり、ラウクの社の扉を呼び起こす唯一のもの」          神々「真王と呼ばれる者はダルムダルが残した器ではない。我々、神々の代行者なのだ」          神々、自らを星の創造主「オーベリア」と名乗る。          神々「混沌の元凶ダルムダルを葬るには、この地に眠る残りの3体・生命を司る三姉妹の【光の従者】を目覚めさせる【三戦の試練】を経て、覚醒の儀を行う必要がある」          (アウルニル山の)四門の試練【と対になる存在】          ※【三戦の試練】は【四門の試練】よりもハードで、印を解くには幻獣を撃破し、それぞれに代償を差し出さなければならぬ。          神々「従者への道筋は、我が鍵・ルドラ（チビ龍）の導ぎに従うがよい」</p> <p>しかしチビ龍、光の従者を全て目覚めさせることに躊躇いの様子。オーベリア一族、チビ龍に「星の運命の導き（神の目指す世界）に従うのだ」と語りかける。</p>	
POP			

ト書き	
神界（戦闘なし）	

		ADV	
		DI	キャラ
	チビ龍キュルウ サヴァ エディオン ラース サクヤ イリス		
霧のような壁は消えて、前に進める状態に。 主人公たち、「三戦の試練」を経て、覚醒の儀を行うことに！			セリフ
			備考